



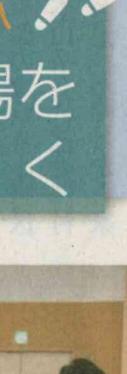
北都銀行主導のバイオマス発電

最大級の木質バイオマス発電所を秋田市向浜に訪ねた。北都銀行の自然工ネルギー事業への支援が止まらない。秋田県の林業再生へ関係者の期待も膨らむ。裾野の広い木材産業。バイオマス発電を見込んで開校した秋田林業大学校の1期生が今春巣立つた。北都銀が推進する地方創生が林業大学校開校という形で実った。

将来の林業を担う若手を養成する県の研修制度「秋田林業大学校」の修了式が3月10日、秋田えた19～26歳の1期生18人。市河辺のプラザクリプトで開かれた。現場実習即戦力として春から県内

で活躍することを誓つた。佐竹敬久知事が「県

迎えている。若い力で林業を盛り上げてほしい」といさつ。修了生一人一人に修了証書を手渡した。修了生は男性15人、



整備課によ
県内の森林
社、木材加
職が内定。
由に一定の
式修了了
1期生の
た。平野は「ちよつと失
礼」と言つて相手を確認
してから電話にてた。こ
の日、国会の新年度予算
が決着していた。「平野
さん、来年度予算に向け
た準備が始まる。何か良
いアイデアはありません
か。山村の過疎解消、若

林業大学校開校へ一役 山村の若者の流出に歯止め

レンジした。県内金融機関を含む9社の参加。2013年10月に同行の働き掛けで湯上市の産業廃棄物処理のユナイテッド計画が設立したユナイテッドドリニューアルエナジー(平野久貴社長)が事業主体。同行は「地方創生プランの新たな第一歩」と発表している。

林業大学校が開校した2015年の春、開校と合わせるように北都銀は木質バイオマス発電事業のシンジケートローンの組成について枠組みを発表している。総投資額は125億円。このうち建設費用106億円を幹



順調な発電を喜ぶ平野久貴社長



秋田林業大学校の1期生修了式

同行地方創生部長の
加藤敬は「秋田杉未利用
材の活用で新しい雇用の
創出、教育分野、若者流
出に貢献できた。バイオ
マス発電に県外大手資本
からの秋田への巨額マ
ネーの投入。地方創生事
業の好例」と語った。

いく。
同行地方創生部長